

図書館報

Kyushu International University Library Bulletin

vol.
40

Vol.38 から、電子媒体のみでの発行となりました。



Contents

- 図書館長からのメッセージ P.2
- 図書館使おうよ！ P.3
- 図書館Information P.4



本を読まなくてもふらっと立ち寄り 気がねなく過ごせる図書館

図書館長 山口 秋義

令和5年に北九州市立中央図書館は「これからの図書館のあり方」に関するアンケート調査を行いました。この報告書*によりますと、図書館へ求める新たな機能として一番多くの回答者が選んだのは「本を読まなくてもふらっと立ち寄り気がねなく過ごせる」（38%）でした。このほかにも

「暑さ・寒さ・雨風を避けて快適に過ごせる」（25.3%）「子どもと一緒に楽しく過ごせる」（15.9%）など多くの人が図書館に厚生施設としての役割を求めているようです。

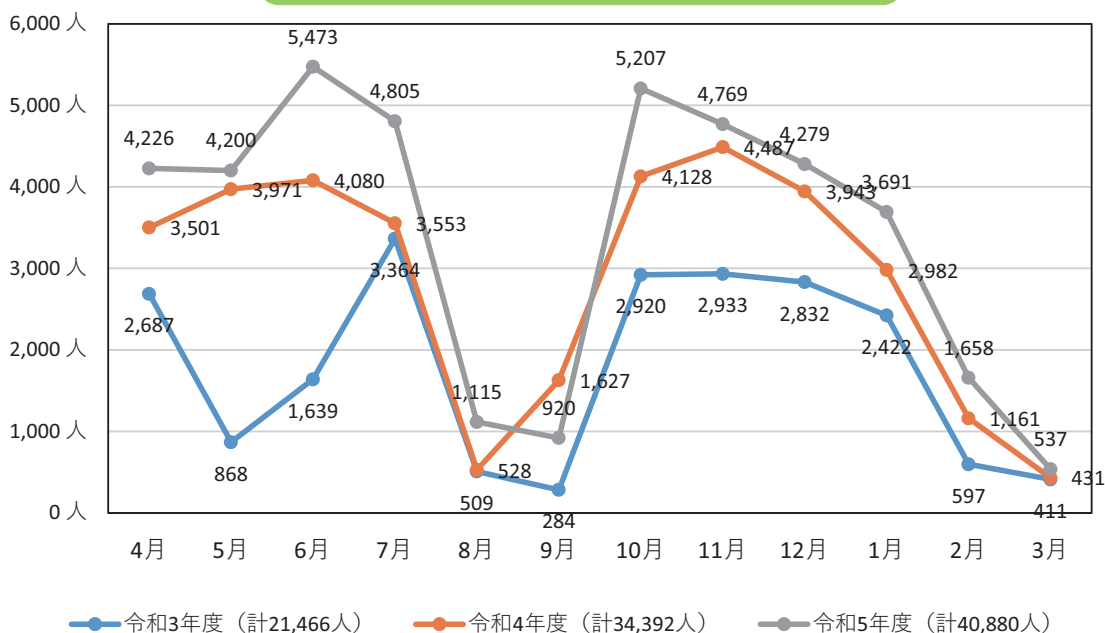
ところで全国の大学図書館の中には24時間開館しているところがありますし、雑誌などを読みながら休憩（仮眠？）することのできるリクライニングシートを設置しているところもあります。これから本学図書館も従来のような学びの場としての役割に加え、学生の厚生施設としての機能を充実させていく必要があるとおもいます。

学生諸君は授業の空き時間を図書館で気兼ねなく過ごしてください。ただしソファにごろ寝をするのはカッコ悪いので控えましょう。図書館が学生の皆さんにとって居心地の良い場所になるようこれからさらに工夫をしていきます。

*** 北九州市立中央図書館『これからの図書館のあり方に関するアンケート報告書』**
令和6年3月. <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001109532.pdf>

令和3年から令和5年にかけて、大学図書館の入館者数（学外者を除く）はコロナ禍以前に戻りつつあります。今後も、図書館施設の改善に向けて努力していきます。

月別入館者数グラフ（令和3年～令和5年）





図書館使おうよ！



大学図書館は、他大学の研究者から雑誌記事・紀要論文の複写依頼を受け付けています。
本学に記事の複写依頼が来る雑誌について、ご紹介します。

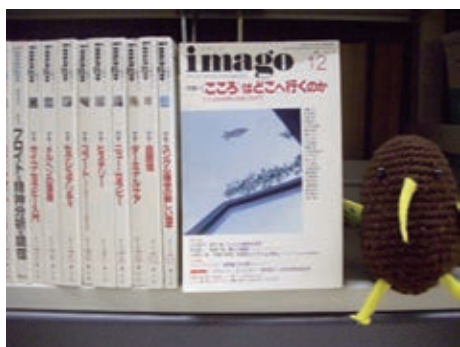
●『財界九州』（財界九州社、1958年創刊）

九州・沖縄の経済活動がテーマの月刊誌です。67年前に創刊した歴史の長い地域経済専門誌で、2019年までの記事は有料会員ならオンライン版で読めますが、それ以前の古い記事は公開されていないため、バックナンバーを保管している本学に複写依頼が来ます。

本学では1994年から現在まで31年分の『財界九州』を保管していて、他大学からの複写依頼数は過去14年間で121件、今年度だけで9件と、他誌と比べて圧倒的に多く依頼が来ます。1999年からの記事タイトルはCiNii Research (<https://cir.nii.ac.jp/articles>)で検索できるので、九州・沖縄の企業や公共団体に就職を希望する人は、社長や県知事などトップのインタビュー記事を調べてみてはいかがでしょうか。



●『imago』（青土社、1990年創刊～1996年休刊）



思想雑誌『現代思想』や芸術雑誌『ユリイカ』など濃い内容の月刊誌を発行している青土社が、35年前に創刊した精神医療雑誌です。サブカルチャーを精神医療の視点で分析するというあまりにも濃すぎた内容のせいか、わずか7年で休刊しました。どれだけ濃いのかは青土社のHP (http://www.seidosha.co.jp/book/index.php?cat_id=12) に、各号のテーマと目次が掲載されているのでご覧ください。

本学では1991年から休刊まで6年分の『imago』を保管していて、過去14年間で8件、今年度だけで3件の複写依頼が来ました。もしかしたら、ようやく同誌の濃さに時代が追いついたのかも？北部九州の大学・公共図書館の中で、バックナンバーを一番多く所蔵しているのは本学です。『現代思想』や『ユリイカ』を読んでいる人は、チャレンジしてみませんか？

雑誌のバックナンバーを閲覧したい人は、2階カウンターまでお問合せください。



●「新入生ガイダンス」を行いました。

4月1日：学部生入学説明会

4月2日：大学院生入学説明会

4月25日：大学院生Westlaw Japan（法律総合オンラインサービス）説明会

4月19日・26日：法学部入門ゼミ

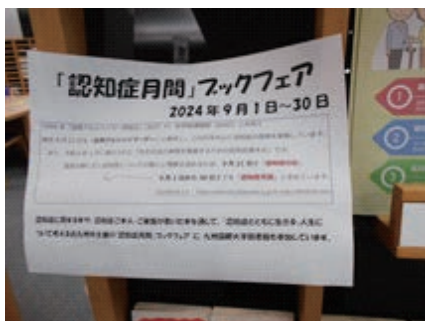
4月18日・25日：現代ビジネス学部国際社会学科入門ゼミ



●「認知症ブックフェア」に参加しました。

認知症に対する理解と知識の普及・啓発を呼びかける北九州市の「認知症ブックフェア」に協力し、認知症患者で本人やご家族の書かれた関連図書を展示しました。

実施日 9月21日～10月20日（北九州市が定める「認知症啓発月間」）



●コロナ禍で中止していた学外者の利用を、2024年9月1日より再開いたしました。

利用内容に変更がございますので、詳細はホームページをご確認ください。

<https://www.kiu.ac.jp/academicpursuits/library/libraryguide/public/>

●定期購読誌(和洋雑誌・新聞・官報)変更のお知らせ

和雑誌 『地域開発』は、2024年10月から休刊になりました。

『じゃらん九州』は、2025年3月から休刊になります。

洋雑誌 『American Economic Association Journals』『AEA Papers and proceedings』『American economic journal』『Applied economics』『American economic journal Economic policy』『American economic journal Macroeconomics』『American economic journal Microeconomics』『Journal of economic literature』『The American economic review』『The American economic review Insights』『The Journal of economic perspectives』は電子化のため、冊子体は購読中止となりました。

『Academy of Management Review』は電子版休刊のため、冊子体での購読になりました。

新聞 『朝日新聞』『日本経済新聞』の夕刊は、2024年6月から発行休止になりました。

『日経ヴェリダス』は、2025年3月から電子化のため、紙での販売が休止になりました。

官報 『官報』は、2025年4月1日からの電子化により、紙での購読を休止します。